

絶滅の危機を救え！

最小個体数の「火打山のライチョウ」の未来を守るプロジェクト (ふるさと納税クラウドファンディング)

火打山のライチョウの現状

ニホンライチョウは、氷河期からの生き残りと言われ、国の特別天然記念物であるとともに、絶滅危惧種の指定を受けています。

そのなかでも、「火打山のライチョウ」は、国内最北限に生息する最小の個体群で、その生息数は、年々減少し、絶滅が危惧されています。



ライチョウに迫る脅威

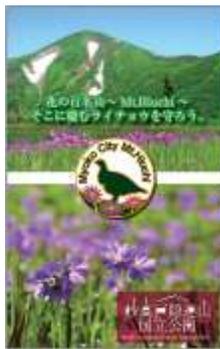
妙高市と環境省では、ライチョウの減少要因を調査しており、近年、高山帯では、見かけることがなかったニホンジカやイノシシ等の害獣が火打山にたびたび出没していることが明らかになっています。

ニホンジカによる食害は、全国各地で生態系や農林業に深刻な被害をもたらしており、植物をはじめ森林が衰退することで、そこに棲む動物にも影響を与える例も多く見られます。

これが、火打山でも起きたら、そこに棲むライチョウはひとたまりもありません。害獣の生息数が高密度になる前に、早急な対策が求められています。

ライチョウの未来を守りたい

妙高市ではライチョウを豊かな自然環境の象徴とし、環境省や関係機関、ボランティアの環境サポーターの皆さんが力を結集し、生息エリアの自然環境保全に取り組んでいます。「火打山のライチョウ」は、妙高市の宝であります。先人たちから受け継いだ宝を、後世に引き継いで行くため、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。



お礼品について

5000円以上ご寄付いただいたかたには、火打山のライチョウをモチーフにしたオリジナルピンバッチをお送りいたします。